

改善案

第2回提示

【農業経営の労働力】(後継者)

3 後継者

5年以内に農業経営を引き継ぐ後継者を確保していますか。
該当するものに記入してください。

て確 保 し	親族	206	0
	親族以外の経営内部の人材		0
	経営外部の人材		0
確保していない			0

【農業経営の労働力】(後継者)

(3) 今後、5年以内に農業経営を引き継ぐ予定がありますか。
該当するものに記入してください。(予定者を含みます。)

親族への継承	230	0
親族以外の経営内部の人材への継承		0
経営外の第3者への継承		0
今のところ継がせる候補がいない		0
予定なし		0

【定義】

後継者とは、5年以内に農業経営を引き継ぐ者をいう。

- ・親族については、3親等内の親族
- ・親族以外の経営内部の人材については、農業経営における親族以外の役員又は雇用している者
- ・経営外部の人材については、上記以外の者
- ・確保していないについては、後継者を探しているが見つからない、5年以内に農業を継がせる予定がない、廃業する予定等が含まれる。

【定義】

後継者とは、5年以内に農業経営を引き継ぐ予定の者をいう。

- ・親族以外の経営内部の人材については、親族以外であり、経営内部の役員や雇用されている者をいう。
- ・経営外の第3者については、上記以外の者又は農地中間管理機構へ土地を貸すことも含まれる。
- ・今のところ継がせる候補がいないについては、後継者を探しているが見つからないことをいう。
- ・予定なしについては、今後5年以内に農業を継がせる予定はない又は廃業する予定も含まれる。

【変更点】

- ・第2回研究会での意見を踏まえ、「5年以内に農業経営を引き継ぐ予定があるか」から「5年以内に農業経営を引き継ぐ後継者を確保しているか」に変更。

改善案

【農業経営の特徴的な取組】(有機農業)

3 有機農業に取り組んでいる場合、該当品目の面積を記入してください。

		(ha) (町) (反) (畝)				
水稻	804	8	8	8	8	8
大豆	805	8	8	8	8	8
野菜	806	8	8	8	8	8
果樹	807	8	8	8	8	8
その他	808	8	8	8	8	8

注：有機農業とは、化学肥料及び農薬を使用しない、遺伝子組換え技術を利用しない農業のことで、減化学肥料・減農薬栽培は含みません。
なお、自然農法に取り組んでいる場合や有機JASの認証を受けていない者でも、化学肥料及び農薬を使用せず、遺伝子組換え技術も利用しないで農業に取り組んでいる場合、有機農業に該当します。

第2回提示

【農業経営の特徴的な取組】(有機農業)

4 有機農業に取り組んでいますか。
該当するものすべてに必ず記入してください。

取り組んでいない		804	0
取り組んでいる	水稻	805	0
	大豆	806	0
	野菜	807	0
	果樹	808	0
	その他	809	0

注：「有機農業」とは、化学的に合成された肥料及び農薬を使用しない、遺伝子組換え技術を利用しない農業のことで、減化学肥料・減農薬栽培は含みません。

【定義】

有機農業とは、化学肥料及び農薬を使用しない、遺伝子組換え技術を利用しない農業のことで、減化学肥料・減農薬栽培は含まない。

なお、自然農法に取り組んでいる場合や有機JASの認証を受けていない者でも、化学肥料及び農薬を使用せず、遺伝子組換え技術も利用しないで農業に取り組んでいる場合、有機農業に該当する。

【定義】

有機農業とは、化学肥料及び農薬を使用しない、遺伝子組換え技術を利用しない農業のことで、減化学肥料・減農薬栽培は含まない。

【変更点】

- ・第2回研究会での意見を踏まえ、有機農業に関する定義の明確化
- ・有機農業の取組面積の進捗状況を把握することとしていることから、主な作物における取組の有無から、取組面積の把握に変更。

改善案

【農業経営の特徴的な取組】(農業経営へのデータ活用)

- 1 効率的かつ効果的な農畜産物の生産・経営等を行うためにデータを活用した農業を行っていますか。
その際、どのようにデータを活用していますか。
該当するものに必ず記入してください。

簡易にデータを活用	0
高度にデータを活用	0
データを活用した農業を行っていない	0

注:「簡易にデータを活用」とは、スマートフォン、パソコン等から気象、市況等のデータを入手し、農業の生産・経営等に活用することをいいます。

注:「高度にデータを活用」とは、「簡易にデータを活用」に加え、センサー、ドローン等からの生育・生産状況等のデータを入手して、専用のアプリや、パソコンのソフト等で分析し、農業の生産・経営等に活用することをいいます。

第2回提示

【農業経営の特徴的な取組】(ICT機器)

- 1 農業の生産・経営においてICT機器によるデータの活用をしていますか。
該当するものに必ず記入してください。

活用している	0
活用していない	0

注:「ICT機器によるデータの活用」には、センサー、ドローン、衛星を活用した農畜産物の生育・生産状況等の把握のほか、パソコン、タブレット、スマートフォン、携帯電話等による生産、経営に関する情報の入手、データの管理を含めます。

【定義】

- ・「簡易にデータを活用」とは、スマートフォン、パソコン等から気象、市況等のデータを入手し、農業の生産・経営等に活用することをいう。
- ・「高度にデータを活用」とは、「簡易にデータを活用」に加え、センサー、ドローン等からの生育・生産状況等のデータを入手して、専用のアプリや、パソコンのソフト等で分析し、農業の生産・経営等に活用することをいう。

【定義】

センサー、ドローン、衛星を活用した農畜産物の生育・生産状況等の把握のほか、パソコン、タブレット、スマートフォン、携帯電話等による生産、経営に関する情報の入手、データの管理をいう。

【変更点】

- ・第2回研究会での意見を踏まえ、ICT機器によるデータの活用について、「簡易にデータを活用」と「高度にデータを活用」に調査項目を区分し、定義を明確化。